

講義名	地域社会学		
科目区分	学部専門基礎 選択必修		
担当教員	脇 穂積		
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 1時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		講義コード	51032

主題と概要

好む好まざるに関わらず、私たちは地域社会の中に生きています。講義ではまず、地域社会に関する主要な概念である、地域、地域社会、コミュニティ、町内会・自治会など基本的な用語の理解を進めていきます。その後、地域社会の様々な変化～都市化、過疎化、グローバル化、自治のあり方等～を解説する。そのうえで、地域社会を巡る様々な論点～少子化・子育て、高齢化・介護、地域経済～について現況を解説し、その課題について考えていく。最後に、課題への理解を踏まえ、地域社会に関わる手法を身につけていきたい。

到達目標

本講義の到達目標は、受講生が「社会」という存在が所与のものではないということを理解すること、人間の定住生活の場である地域社会の歴史の変容を知ること、今日の地域社会における諸問題と新たな地域社会づくりを知ること、を通じて「地域社会」を多面的に理解する能力を身につけることにある。

提出課題

授業計画中、進行状況に応じてレポート提出を課す。

評価の基準

授業中の提出物及び出席 50%
レポート試験 50%

履修にあたっての注意・助言他

講義は双方向型の質疑応答形式で進めていきます。積極的な発言を期待します。講義中の私語、不必要な携帯電話、メール等は厳禁です。このような行為がある場合、「講義妨害」と見做し、他の履修者の権利を守るため退室していただくことがありますので注意してください。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

授業計画

1. イントロダクション
2. 大学で学ぶ意味とは何か
3. 地域社会学の基礎(1):社会学の視点
4. 地域社会学の基礎(2):社会学から捉える地域/都市
5. 地域社会に関する主要な概念解説～地域、地域社会、コミュニティ、町内会・自治会
6. 地域社会に関する主要な概念解説～地域、地域社会、コミュニティ、町内会・自治会
7. 地域社会の様々な変化～都市化、過疎化、グローバル化、自治のあり方
8. 地域社会を巡る様々な論点～少子化・子育て、高齢化・介護、地域経済
9. 日本の都市調査研究
10. 日本の農村調査研究
11. イエ/ムラ論
12. シカゴとシカゴ学派、アーバニズム論
13. レポート試験準備
14. レポート試験準備
15. まとめ

予習・復習

「社会」とは何か? 「地域」とは何か?
「社会学」が何故、学問として存在しているかについて、改めて考える講義となります。歴史の話もたくさん出てきますので、興味を持って世界史・日本史を予習・復習いただくと嬉しいです。

備考